

# 2016 中央大学・大都市シンポジウム

東京多摩地域の連携型都市圏の形成と都市経営を考える

## 2016年12月16日(金)

13:30 ~ 16:45 (開場 13:00, 閉場 17:00)

場所 **RISIRU ホール (立川市市民会館)**

### 《開会挨拶》

13:30 ~ 13:35



佐々木 信夫

(中央大学経済学部教授)

### 一般市民向け公開、入場無料、先着申込み200名!

人口減少期に入り、東京都も区部、多摩地域ともいろいろな課題を抱えている。特に多摩地域は、郊外の周縁地域から崩壊していく可能性が高い。ただ、逆転の発想もあるわけで、区部からの人口誘導を含め、新たな多摩地域の都市経営の展開を進めるなら、減少→消滅というスパイラルを食い止め、人口増→豊かな都市圏を形成していくことは可能ともいえる潜在力がある。

多摩都市圏内に一定規模の「連携型都市圏」をいくつか形成し、医療・福祉、教育などの公共サービスの供給はもとより、都市再生の核にしていく必要がある。そこで本シンポジウムでは、昨年度に続き、第2弾として「都市経営」の視点から東京多摩の自立と創生を、官・学・民の立場で考えてみたい。多くの方々でご参集をお待ちしています。

### 《総合司会》



川井 綾子

(フリーアナウンサー、  
中央大学客員講師)

### 《第I部・講演》

13:35 ~ 14:15 (40分)

講演I

広域連携、都市連携で  
どんな改革が求められるか

土屋 正忠

(衆議院議員、前総務副大臣、前武蔵野市長)



14:15 ~ 14:45 (30分)

講演II

転機を迎えた東京・  
多摩都市圏の課題と展望

谷 隆徳

(日本経済新聞論説委員・編集委員)



14:45 ~ 15:15 (30分)

講演III

事例報告：立川市の取り組み  
と他市連携の試み

清水 庄平

(東京都立川市長)



### 《第II部・パネルディスカッション》

15:25 ~ 16:45 (80分)

テーマ：東京多摩圏の自立と都市経営を考える

パネリスト

土屋 正忠 (講演者)

谷 隆徳 (講演者)

清水 庄平 (講演者)

野村 有信

(東京都議会議員)



松尾 紀子

(中央大学経済研客員研究員  
認定こども園経営)



コーディネーター

成田 浩

(中央大学経済学部特任教授)



主催 中央大学経済研究所・都市経営研究会、後援 立川市